



2016年4月号・第106号  
**ほほえみ通信**

第106号 (H28. 4. 1発行)  
託児施設『シルバーほほえみ』  
筑紫野市岡田 3-11-1  
ほほえみタウンC棟  
(公社)筑紫野市シルバー人材センター  
Tel: 092-919-7755  
http://www.chikushino.or.jp



桜が満開になり、さわやかな春風を感じられるようになりました。今年度の『シルバーほほえみ』は、スタッフ19名(保育士2名・育児ヘルパー17名)でスタートしました。美容院に行きたい・ゆっくりランチがしたいなど利用の理由を問わず、生後3ヶ月～就学前までの乳幼児を対象に一時預かり託児をしています。育児ヘルパーのおじちゃん・おばちゃんは、子どもたちをお預かりできることを楽しみに、ご利用をお待ちしています。



### 職員紹介

今年度より『シルバーほほえみ』の育児支援コーディネーターを務めさせていただく川原ゆう子と申します。

私自身も現在3人(長女・次女・長男)の子育て真っ最中です。

のびのびと活動できるように安全には十分配慮し、保育してまいります。

これからよろしく お願いします。

こんにちは！育児支援コーディネーターの篠原千晶です。『シルバーほほえみ』の仕事始めて早いもので4年目を超えました。お子様に接する時間を大切に、子育てに頑張っているお母様の応援が少しでもできればと思っています。

これからもよろしく お願いします。

### 毎朝チェック

1日を楽しく過ごせるように、子どもの健康チェックをしましょう。

- 顔色はいいですか？
- すっきり目が覚めていますか？
- 体をだるそうにしていますか？
- 食欲はありますか？
- 下痢や便秘はしていませんか？

おかしいなと思ったら熱を測り、無理をせずにゆっくり休ませあげてください。

### 元気の源・朝ごはん

1日元気に過ごすために、朝ごはんをしっかり食べましょう。夜寝ている間に体温は下がりますが、朝ごはんを食べることで上がっていき、体を動かす準備や脳が働くためのエネルギーに変わります。朝ごはんを食べていないと集中力に差が出てきます。朝ごはんは大切です。



### お知らせ

5月30日(月)は、シルバー人材センター定時総会のため、お休みします。

## 『託児施設シルバーほほえみ』元会員からのメッセージ



ほほえみ10年を振り返って

友貞 美恵 (会員)

平成17年9月5日に育児支援託児ルーム「ほほえみ」を立ち上げることになりました。ほほえみは幼稚園でも保育園でもない発注者宅へ会員が出向いて1対1の子守り見守りでしたが、若いお母様方のサークル活動等や出先での集団託児また、育児経験豊富なシルバー会員さんとの会話を楽しみにしていただけることを聞き、ちょっとした用事を済ませたい、子供を連れて行けない、自分の時間が欲しいと内容はさまざま、子育て中のお母様方の息抜きの場所として安心して預けてもらえるよう時間の提供をしようと当センターの一室を「託児施設シルバーほほえみ」として開放することにしました。

独自事業としての育児支援であるため、ほんとうに実現出来るかしらと何回も話し合いをもったり、この事業に賛同していただいた会員さん(15名程)も皆、育児ヘルパー初級、中級の養成講座を受講されて連合からも研修に来て頂き、不安な気持ちながらその日を迎えました。

私たちに出来るかしら子どもさんを預けていただけのかしらといろいろと心配もありましたけどまずは、動いてみようと思ひ、チラシ配りと一生懸命でした。

必ず、2人は常駐し、お子様が居なくても出来ることになり、その場合は無償です。就業日を決めるのに個人に電話をして了承してもらったり、私たち3人位は、月に(9:00~16:00)10日程度就業するのが、1年近く続きました。

その間、連合より高齢者活用力子育て支援事業推進委員会委員に委嘱させて頂きました、連合のリーダー研修として、各地区から10名程、広島県府中町シルバー、広島県海田町シルバー、京都市シルバー、滋賀県栗東市シルバー、福井県敦賀市シルバーと研修視察にいかせて頂きました。

「託児施設シルバーほほえみ」も少しづつ賑やかになり、子供さんには、目くばり、心くばり、公平な態度、安全に怪我などない様に、最善の注意をし、お母様方には、笑顔で迎え、言葉使いを大事にし、自分の考えを押し付けないように、話をしっかりと聞いてやることに務めました。

私のエプロンの端をしっかりと握り、ひとときも離さずついてくる子、一生懸命私に話しかけてくれるけど、言葉が通じなくて、ついに怒って泣き出してしまおう子、おとなしく部屋の隅に座り込んでいるので、安心したら口の中に物を入れて、もごもごさせていたのでびっくりしたり、集団託児で、お母さんから「おりにしなさい」と言われたらしく2時間余り、しっかりとまんしていたと思います。お母さんが迎えにみえたたん、涙をいっぱいにつまみ「ぼく、おりにさんにしていたよ」と何回も言って泣き出し、私もまんしていたことに気がつかなくて、その子をみたたん涙が出てきて「お母さんおうちに帰ってからもしっかりとほめてあげて下さい」と頼んだこともありました。

ほほえみがここまでこれたのも会員さんが、お母さん子供さんに対し、子供大好きで接して下さったからだと思います。私も大へん助けていただきました。

9年半位子育てにかかわって、子供は宝、あの笑顔のすばらしさ、お母さん大好き、私もどれほどの元気をもらったことか、今は少しさびしさもありますけど子供と出会ったら笑顔で接して行きたいと思っています。